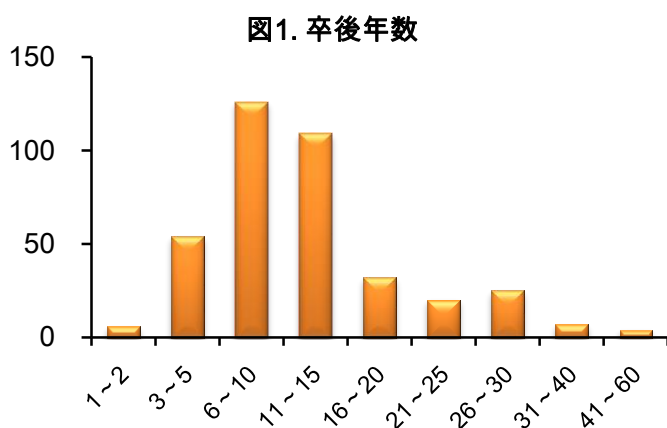


日本救急医学会では、女性救急医の確保と継続できる職場環境の改善を目的に、2013年6月に「救急医療における女性医師参画推進プロジェクト検討会」を発足しました。第41回日本救急医学会総会では、女性医師ラウンジを設け、情報交換を行い、述べ79名の医師、関係者が訪れてくださいました。また、2013年10月には、1050名の日本救急医学会女性医師会員へアンケート調査をお願いしたところ、385名(37%)の回答を得ることができました。多くの先生方のご協力に感謝申し上げます。一部になりますが、アンケート結果の一次解析結果をご報告いたします。



385名中、卒後6年以上15年未満の先生が、235名(61.4%)と過半数を占めました(図1)。また、現在、救急医療に携わっている医師は247名(64.2%)(図2)で、携わっていない138名(35.8%)の内、再度、救急医療にかかわりたいと答えた医師が、97名(70%)を占めました(図3)。

図2. 救急医療に現在携わっていますか？

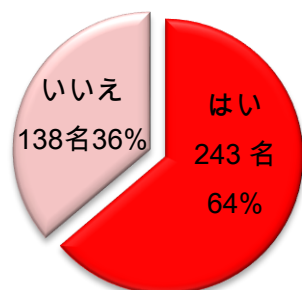


図3. 救急医療にもう一度関わりたいですか？

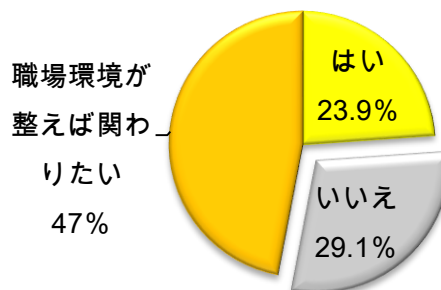
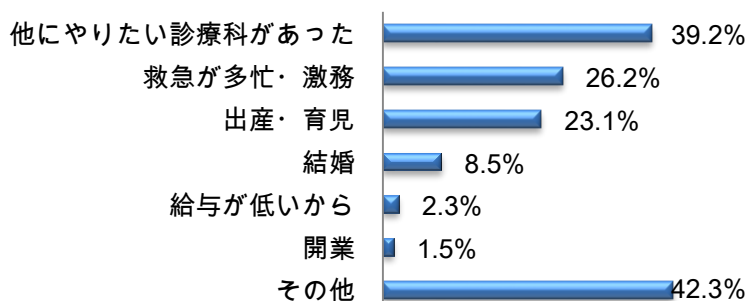


図4. 救急医療から離れた理由(複数回答)



救急医療から離れた理由には、業務多忙だけではなく、結婚・出産・育児に伴うものも30%を占めました(図4)。この他にも貴重なご意見を多数いただきましたので、更なる分析を行い、ご報告させていただきます。

2014年1月 救急医療における女性医師参画推進プロジェクト検討会
(文責 順天堂大学浦安病院救急診療科 角 由佳)